事例No.	2556
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	黒部ワンコイン・プロジェクト実行委員会

事例区分	地域活性化

タグ	・交通事業 ・関係人口 ・観光

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

黒部ワンコイン・プロジェクト実行委員会

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

特定非営利活動法人　都岐沙羅パートナーズセンター　新潟県村上市

概　　要



地域内の財を集め、つなぎ、支えながら広がりのある「公」を創造することで持続可能な地域社会づくりに貢献することをミッションとして、コミュニティビジネスの育成や多様な分野における地域づくり事業のコーディネート、NPOやまちづくり協議会等の住民活動支援等を行っている。

評価された点



・コミュニティビジネス起業家育成地域づくりとして高く評価できる。
・地域の課題解決に欠かせないコミュニティビジネスを地域に多数、生み出すために、立ち上げ時だけではなく、その後も手厚いフォローをすることで地域に根づいた事業を生み出してきた点や、官民協働にとどまらず、民間同士＝民民連携にも力を入れることで、地域の重層的で多様な発展に寄与している点が高く評価される。
・地域内でのコミュニティビジネスを立ち上げており成果が見られる。
・コミュニティビジネス起業支援という分野において、確実な実績を残している。地域づくりの新しいモデルを構築した点を評価。

黒部ワンコイン･プロジェクト実行委員会　富山県黒部市

概　　要



利用者数減少や赤字経営に苦しむ富山地方鉄道を地域の貴重な資源として地元住民の手で存続、活性化することを目的として、市内１５駅間を春・秋の土日祝日に５００円で乗り放題にする取組みを行っている。期間中に沿線でスタンプラリー等のイベントを集中的に実施し、観光客や地元住民の利用者数増加により地域の活性化につながっている。

評価された点



・「保存と活用そして持続」いずれも地方鉄道が取り組む課題である。何より地域利用者を増強させつつ、地域外の利用者拡大を積極的に実践的に続けている。その活動の持続力に敬意を表したい。
・鉄道は愛好家の間では人気が上昇しているが、経営に十分に寄与しているわけではない。それを上手く経営改善につなげる努力をしていることを評価。
・各地域でバスの廃線が問題になっていますので、有効に地元の方々及び観光客が利用される事は素晴らしい。
・経営の厳しい地方鉄道の参考となる事例。
・沿線各地域の住民を巻き込み、魅力の再発見に繋がっている。